

自治体経営研修「政策形成能力（第2回）」

【日時】	令和4年1月25日（火）15:00～17:00
【会場】	コンフォート新宿
【受講者数】	50名
【講師】	立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教／一般社団法人日本ケアラー連盟理事／日本認知症ケア学会・日本社会福祉学会・日本介護福祉学会等所属／「若年認知症ねりまの会 MARINE」の代表 田中 悠美子 氏
【研修内容】	<p><目的> 民間企業の経営理念や革新的経営手法を学び、各区の課題に引き寄せて考察することで政策形成能力の向上を図る。また、特別区が直面している課題に焦点をあて、深く掘り下げて考察し、課題解決に向けた取組に必要な知識を修得する。</p> <p><内容> ①ヤングケアラーの基礎知識 ②ヤングケアラーの支援の必要性 （大人の介護者支援とどのような違いが存在するのか） ③海外のヤングケアラー支援の取組事例 （イギリスなど） ④国内のヤングケアラー支援の取組事例 ⑤特別区におけるヤングケアラー支援の方向性・具体的政策の導入方法・導入時の留意点</p> <div data-bbox="991 920 1418 1193" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;"><講義の様子></p>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・要因は様々であるため、課題として認識することで、福祉や子ども部門でなくてもできる支援・連携があると考えました。 ・ヤングケアラーを対象とした総合窓口を設置し、各部署につないで、支援につなげていくことや、子どもの声に耳を傾けながら支援していくことが重要であると考えます。 ・ヤング・若者ケアラーの社会進出の場での早期発見・支援の必要性を感じました。特に次世代支援に携わる職員として、教育機関との連携が必須であることを改めて認識することができました。 ・担当する部署によらず、必要な知識であると感じました。ヤングケアラーという一つのテーマですが、その後ろには多くの課題や分野があることをわかりやすく説明いただき、理解が深まりました。 ・家族のことは家族だけでなく、社会全体で考えるという視点が大事であると思いました。